

CM方式モデルプロジェクト一覧

	秋田県上小阿仁村		福島県南相馬市		東京都足立区											
事業名	長信田交流センター建設工事		新図書館建設事業		西新井小学校及び中川小学校施設更新											
想定総事業費	約 4,000 万円		約 22 億 5,000 万円		約 21 億円 (2 校とも更新の場合)											
発注方式	設計施工分離、施工分離発注		設計施工分離、施工コストオン発注		設計施工分離、施工分離発注											
事業スキーム																
進捗状況	平成 18 年度 基本調査の発注・完了 平成 19 年度 実施設計発注・完了 CMR 選定		平成 16 年度 構想 平成 17 年度 CMR 選定・基本設計発注 平成 18 年度 基本設計完了、実施設計発注・完了 (平成 19 年 2 月)		平成 19 年度 西新井小学校：耐力度調査・設計業者 (CMR) の発注・完了 中川小学校：耐震診断等・設計業者 (CMR) の発注・完了											
事業予定	平成 19 年度 工事発注 平成 20 年度 工事着手・完了・供用開始		平成 19 年度 次年度の工事発注に向けての検討・準備 平成 20 年度 工事発注 平成 21 年度 完成・供用開始		<table border="1"> <thead> <tr> <th>西新井小学校</th> <th>中川小学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 19 年度：調査、基本計画書等作成</td> <td>平成 19 年度：基本計画書等作成</td> </tr> <tr> <td>平成 20 年度：基本設計・実施設計</td> <td>平成 20 年度：基本設計・実施設計、校舎改築工事</td> </tr> <tr> <td>平成 21 年度：旧校舎解体、校舎改築工事</td> <td>平成 21 年度：校舎改築工事</td> </tr> <tr> <td>平成 22 年度：校舎改築工事</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		西新井小学校	中川小学校	平成 19 年度：調査、基本計画書等作成	平成 19 年度：基本計画書等作成	平成 20 年度：基本設計・実施設計	平成 20 年度：基本設計・実施設計、校舎改築工事	平成 21 年度：旧校舎解体、校舎改築工事	平成 21 年度：校舎改築工事	平成 22 年度：校舎改築工事	
西新井小学校	中川小学校															
平成 19 年度：調査、基本計画書等作成	平成 19 年度：基本計画書等作成															
平成 20 年度：基本設計・実施設計	平成 20 年度：基本設計・実施設計、校舎改築工事															
平成 21 年度：旧校舎解体、校舎改築工事	平成 21 年度：校舎改築工事															
平成 22 年度：校舎改築工事																
CMR の業務・CM方式モデルプロジェクトの事業内容		CMR	CMアドバイザー		CMR	CMアドバイザー										
	事前検討			事前検討												
	CM導入			CM導入												
	基本計画			基本計画												
	基本設計			基本設計												
	実施設計			実施設計												
	工事			工事												
選定可否	可		可		可											
選定理由	<p>上小阿仁村は、自治体規模と比較して大規模な事業について、発注者としての体制の補完が必要と感じている。また、地域産業の活性化にも意欲を示している。</p> <p>CM方式モデルプロジェクトとしての選定及び国による支援により、以下の効果が期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> CM方式の導入により、村の技術面での体制が強化され、当該事業の効率的・効果的な実施が図られること。 本事業が、他の小規模自治体における体制補完及び地元建設業振興を目的としたCM方式のモデルとなること。 		<p>南相馬市は、平成 17 年度より、透明性の高い第三者委員会によるCMR選定、コストオン方式による地元建設業者の受注機会の確保等の先進的な取組を行っている。</p> <p>CM方式モデルプロジェクトとしての選定及び国による支援により、以下の効果が期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでのCMRのマネジメント業務が適切に機能しているか検証し、必要に応じて改善を図ることにより、今後発注予定の建設工事の効率的・効果的な実施が図られること。 本事業が、他の地方公共団体におけるコスト構造の透明化と地元建設業振興を目的としたCM方式のモデルとなること。 		<p>足立区は、今後 20～30 年にわたり、学校施設の更新事業を毎年 2～3 件程度着手していく必要があり、一連の更新事業について、発注者としての体制の補完が必要と感じている。</p> <p>CM方式モデルプロジェクトとしての選定及び国による支援により、以下の効果が期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> CM方式の導入により、区の技術面や人数面での体制が強化され、当該事業の効率的・効果的な実施が図られること。 今後区が実施する一連の学校施設の更新事業において採用すべきCM方式のあり方が明確化されること。 本事業が、他の地方公共団体における体制補完を目的としたCM方式のモデルとなること。 											